

第4節 主催事業

1 指導者のための研修

(1) 学校団体指導者事前研修会

① 目的

小・中・養護学校等が当施設で行う集団宿泊生活や諸活動の充実を期するため、プログラミングや実技研修を行い、指導者としての資質の向上を図る。

② 期日・対象・参加者数

- 第1回・平成9年4月16日(水)～17日(木) 1泊2日
・5月～7月に利用する学校の教職員63名参加
- 第2回・平成9年7月1日(火)～2日(水) 1泊2日
・8月～12月に利用する学校の教職員18名参加
- 第3回・平成9年11月26日(水)～27日(木) 1泊2日
・1月～3月に利用する学校の教職員35名参加

③ 研修内容

- 野外活動や集団宿泊に関する実技研修
- 利用校の児童生徒の実態に応じた活動計画の作成と調整
- 引率指導者と所員の役割分担とその内容の明確化
- 施設設備の実態と活動エリアの状況把握

(2) 社会教育団体指導者研修会（リーダーセミナー）

① 目的

社会教育関係団体（公民館、少年団体等）が行う集団宿泊生活や野外活動等の充実を期するため、プログラミングや実技研修を行い、指導者としての資質の向上を図る。

② 期日・対象・参加者数

- 平成9年5月24(土)～25日(日) 1泊2日
- 当所利用予定団体の指導者及び社会教育団体等の指導者28名参加

③ 研修内容

- 施設設備の利用の仕方と活動プログラムの作り方
- 野外活動に関する指導法と実技研修
- 施設設備の実態と活動エリアの状況把握

(3) 社会教育団体事前打合せ会

① 目的

7月・8月の利用予定団体が当施設で行う集団宿泊生活や諸活動の充実を図るため、活動プログラムの作成と調整を行うとともに、各団体の指導者の交流を図る。

② 期日・対象・参加者数

- 平成9年7月6日(日) 日帰り
- 7月・8月の利用予定社会教育団体の指導者及び担当者33名参加

③ 研修内容

- 施設利用の方法
- プログラムの作成と調整

(4) レクリエーション実技指導者研修会

① 目的

青少年教育に携わる指導者のレクリエーション技術及び指導力の向上を図り、指導者としての資質を高める。

② 期日・対象・参加者数

- 平成9年7月25日(金)～27日(日) 2泊3日
- 学校教育関係者、社会教育関係者、高校生並びに大学生等36名参加

③ 研修内容

- 理論 ・これからのレクリエーション運動
・余暇生活設計の考え方と目的
- 実技 ・コミュニケーションゲームの実技
・ソングの実技
・ニュースポーツ種目の実技
(ディスクゴルフ、チェックボール)
・ダンスの実技
・グループワークトレーニングの展開

2 自然に親しむ親子のつどい

(1) 親子キャンプのつどい

① 目的

親子によるキャンプ生活や野外活動を通して、自然に親しみながら、親子のふれあいを深め、他家族との交流を図り、相互の親睦を深める。

② 期日・対象・参加者数

- 平成9年7月12日(土)～13日(日) 1泊2日
- 小・中学生の親子101名参加

③ 研修内容

- 親子で楽しくテント泊
- 親子で作る野外炊飯
- キャンプファイヤー
- ネイチャービンゴゲーム

(2) 親子白銀のつどい

① 目的

親子でスキー、そり遊び、もちつき、会津の昔話等を楽しむことにより、親子のふれあいを深め、他家族との交流を図り、相互の親睦を深める。

② 期日・対象・参加者数

- 平成10年1月24日(土)～25日(日) 1泊2日
- 小・中学生親子106名参加

③ 研修内容

- 初歩的なスキー実技
- そり遊び
- 親子もちつき
- 会津の昔話

3 自然に親しむ少年・少女のつどい

(1) 自然に親しむ少年のつどい

① 目的

自然の中での生活体験を通して心身を鍛え、自主性、創造性等を発揮させ、自分を律し、自然と調和して生活していこうとする心情を育てる。

② 期日・対象・参加者数

- 平成9年7月31日(木)～8月3日(日) 3泊4日
- 小学5年生以上中学生まで72名参加

③ 研修内容

- 野営（住みか作り・テント設営とその宿泊体験）